

第1779回 例会 (令和7年4月4日)

本日のプログラム「分かりにくい？ドローンの現在とこれからを徹底解説」 ゲスト卓話 岡田 秀一様 (一般社団法人広島県ドローン協会顧問)

前例会の記録 (第1778回 令和7年3月28日)

- ・会員数 39名
- ・出席者 26名 ・出席率 72・22% (出席免除者出席1名)
- ・欠席者 10名 河田恭志・三宅達夫・山本大介・山本雅夫・森田美千代・高橋剛吉・赤瀬 健・岡原 稔・江原和之・佐藤林平の諸君
- ・出席免除者 4名 奥野千秋・岡辺賢二・大嶋元義・牧野真樹君
- ・3月7日メーキャップ後の出席率 86・49%→91・89%に補正
2月7日定例理事会参加、新井善久君 2月26日岡山丸の内RCへ恵谷龍二君
- ・ゲスト なし
- ・ビジター 山本 国春様 (笠岡RC)
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立120年と33日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立38年と104日に当たります。
2週間ぶりの例会です。皆様お変わりございませんでしょうか？岡山と今治の山火事がなかなか鎮圧しないことが心配です。
訃報連絡が2件あります。岡山南RCのPastガバナー 延原正様が3月20日ご逝去されました。享年93才でした。
現ガバナー 榊原 敬様のご尊父 榊原 宣様が3月25日ご逝去されました。享年95才でした。
3月19(水)と、次年度第1回被選理事会が開催されました。
- ・幹事報告 坂口ガバナーエレクト事務所より、2025-26年度クラブ活性化ワークショップのご案内をいただいております。
日時：2025年5月18日(日)13:00~15:30
場所：米子コンベンションセンター 出席要請 6名 登録料：6,000円
金谷ガバナーノミニーより、「第6グループロータリークラブと金谷晋爾地区ガバナーノミニーとの懇談会」のご案内と、2026-27年度金谷晋爾ガバナー年度ご協力のお願いをいただいております。
日時：2025年5月10日(土)11:00~14:30
場所：倉敷国際ホテル 出席要請者 8名 会費：3,000円
令和7年度春の交通安全市民運動の実施についてお願いとご案内が参っております。
- ・委員会報告 なし ・配布 週報 ガバナー月信 ・食事 幕の内

◎スマイル

- 新井善久君 吉岡、荒川会員、会員卓話よろしくお願いします。山本国春様ようこそ！
- 池田 孝君 山本国春様ようこそいらっしゃいました。吉岡、荒川会員卓話宜しくお願いします。
- 金政一孝君 桜がきれいな季節になりました。次年度も動き出しました。健康に気を付けてRC,仕事を楽しみましょう。IMご参加よろしくお願いします。
- 中濱康幸君 IMゴルフ大会に参加しました。コースは最高でしたがスコアは最高では無かったです
- 恵谷龍二君 高柳店を旬やとしてリニューアルオープンしました。早退します。

- 小川隆則君 山本様ビジター参加ありがとうございます。卓話者の方原稿提出よろしくです。
- 吉岡孝恭君 一口卓話します。よろしくお願い致します。
- 谷口有紀子君 遅刻しました。一昨日より生後3ヶ月の柴犬の女の子が家に来ました。
- 工藤一郎君 IM記念ゴルフで中濱さんに北房まで乗せていただき楽チンでした。
- 福嶋啓祐・椋梨孝章君 早退します。
- 佐藤林平・山本雅夫・山本大介君 本日欠席させていただきます。

スマイル 18,000円

●プログラム 会員一口卓話 吉岡孝恭会員・荒川佳朗会員

発表者：吉岡孝恭会員

笠岡諸島をロケ地として製作された映画「トリリオンゲーム」に興味を抱き、数年ぶりに映画館に足を運びました。映画のストーリーはもちろんですが、スクリーンを通して島の風景などを見たとき、自分たちの住んでいる街の魅力に改めて気づかされました。映画を見たことで、自分たちが地元の魅力にどれだけ誇りを持てるか、改めて観光についても深く考える機会になりました。ホテル業を営む立場として、観光とのかかわりを常に考えてきましたが、滞在客に対して「観光の窓口」としての機能を果たせるような取り組みをさらに増やす必要性を感じています。

商工会議所でも、観光誘致に向けた活動に取り組んでいますが、ロケ地となったポイントを盛り込んだ企画を検討し、「体験の循環」をつくっていかれたらと考えています。

笠岡という町の魅力を見つめ直し、誇りをもって育てていくことが、これからの観光にとって何よりも大切な土台になるのではないのでしょうか。

笠岡諸島に限らず、笠岡市には外に誇れるものがたくさんあると改めて実感しました。皆さんもぜひ映画「トリリオンゲーム」を観てみてください。きっと、見慣れた街が少し違って見えるはずです。

発表者：荒川佳朗会員

自動車業界では、近年、中国でEV車が爆発的に売れている現状で、ホンダは、中国市場においては、ガソリン車の生産からEV車の生産にシフトすると伺っています。また、ホンダは米国市場向けのハイブリッド(HV)車の生産のため、トヨタから年間40万台分の同社製電池の供給を確保したとのことで、オールジャパンで、トランプ関税に対応する姿勢だと思えます。

さらに、トヨタ関連会社は、「ファイバー電池」(繊維状で自由な形状が可能、軽量の利点)という画期的な車載バッテリーを開発しました。この製品は5~10分の充電で1,000km走行可能とのことで、HV車に搭載するとまさに「鬼に金棒」で今後が期待されます。

さて、次世代のエネルギーとして期待されるのが水素です。中でも製造過程や利用時にCO₂を排出しない「グリーン水素」はクリーンエネルギーの切り札として注目されていますが、この度、広島大学がこの期待に応える「メカノス法」という水素製造技術を開発しました。

さらに、近年開発された、石炭の灰から作られる「バッシュファイバー」(鉄の5倍の強度を持ち、軽量、耐熱・耐圧・高密度の特性を持つという環境配慮型高機能リサイクル繊維)を用いた製品の実用化によって、この水素貯蔵が実現すると、化石燃料からクリーンエネルギーへと環境に配慮した理想社会ができるものと信じています。

次週以降のプログラム&行事予定

- 4/6(日) 第6グループIM 12:30~17:00 まなび広場にいみ/新見商工会議所
- 4/11(金) 第2例会 ゲスト卓話 「組織力を高める個性心理学」友滝 隆宏様
- 4/13(日) 地区協議会 10:30~17:00 米子市文化ホール